

フクシマ事故—辛くても見るべきこと

原発に絶対的な安全はあり得ない、取り返しがつかない、という事実が証明されたフクシマの事故。しかし、時間が経つにつれ、フクシマの現状が見えにくくなってきています。

フクシマに何を学び、何を忘れ去ろう、としているのでしょうか。

40年以上原発、原子力の危険性を訴え続けてこられた原子力研究者の小出裕章さんに、8年目を迎えたフクシマの真実をお話しして頂きます。



講師 小出 裕章 氏



略歴

- 1949年 東京生まれ
- 1974年 東北大学工学部原子核工学科、同大学院修了
- 1974年 京都大学原子炉実験所助教
- 2015年 3月定年退職（退職後松本市へ移住）

主な著書

- 『放射能汚染の現実を超えて』(2011年5月、河出書房新社)
- 『小出裕章 原発と憲法9条』(2012年1月、遊絲社)
- 『騙されたあなたにも責任がある』(2012年4月、幻冬舎)
- 『100年後の人々へ』(2014年8月、集英社新書) 他多数

日時：2019年4月13日(土)13:30～15:30

場所：真生会館 3F (JR 総武線信濃町駅徒歩1分)

お申込・お問合せ 一般財団法人真生会館 〒160-0016 東京都新宿区信濃町33番地4
Tel 03-3351-7121・Fax 03-3358-9700
E-mail gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp
URL <http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

参加費：無料（先着100名）

申込書 『フクシマ事故—辛くても見るべきこと』

お名前 _____ ご住所：〒 _____

連絡先 _____